

一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会 北海道特別支援学校へのフットサル巡回指導活動報告

- 報告者 吉田 順 省
○報告期日 平成 30 年 11 月 22 日
○実施校 北海道北斗高等支援学校
○巡回指導者 吉田 順 省
○当該校担当教諭 戸倉 広 晶 教諭
○実施日 平成 29 年 11 月 15 日 (木)
○実施日程 ① 13:30 ~ 15:15 1.2 年生 (生徒数 27 名) 体育授業
② 15:40 ~ 16:40 ・北斗高等支援学校フットサル同好会 (1.2 年生 20 名)
・上磯高校サッカー部 8 名

○実施概要

① 1.2 年生の体育授業

今回は一人ひとりがボールを触ってもらうことができ、グループでもゲーム形式の内容も実施出来ました。内容は、まず初めに一人一つボールを持ってもらいコーディネーションを交えたウォーミングアップからドリブルのメニューを行い、その後はゲーム形式で一人ひとりボールを触って頂きました。そして、グループに分かれてドリブル、シュートのメニューもゲーム形式で行い、最後に生徒同士、先生チームと生徒チームとの試合という流れで実施させて頂きました。今回も私がこの活動で伝えさせて頂いている、仲間と協力して目標に向かい挑戦する、成功させる、仲間を応援するなど「チームワーク」、そして仲間とともにスポーツを行う「楽しさ」というテーマをフットサルを通じて感じてもらえるように授業を実施させて頂きました。

生徒の皆さんはとても明るく積極的に授業を受けて頂き、笑顔溢れる楽しい授業になったと感じております。



② フットサル交流会

北斗高等支援学校は道内でも珍しい上磯高校と同じ校舎内にある学校で学校祭などの行事は合同で行うことが出来る学校ですが、それ以外の交流はあまりないとのことでしたのでフットサルでの交流という学校様の希望があり、実施に到りました。限られた時間の中で両校生徒さんが交流できる内容で実施し、パスの練習を中心に行い、最後に両校生徒さんで試合を行わせて頂きました。最初はお互いにぎこちなさや遠慮が見られましたが、時間が経つと笑顔が出て来て、コミュニケーションも多く取れる様になっていました。フットサル、スポーツの持つ力を改めて感じた交流会になったと感じております。



○自己評価及び今後の課題等

今回の巡回指導も、体育授業、交流会と2回の指導を行い、2回とも明るく楽しいフットサル授業が行えたと感じております。

今回もこの活動で私が伝えさせて頂いている、「仲間の大切さ」、「楽しむ気持ち」ということをテーマに授業を実施させて頂きました。交流会では支援学校の生徒さんと普通高校の生徒さんとの距離が少しでも近くなればと思い交流会を実施させて頂きました。まだまだ私自身、至らない点が多くありましたが皆さんの笑顔が多く見られたので良かったのではないかと感じております。また、今回は上記にも記載させて頂きましたが、障がいのあるない関係なく楽しめるフットサルの持つ「力」を改めて感じた一日でもありました。今日のような活動が今後のスポーツ界には必要ではないのかなと感じ、これから少しでも皆様のお役に立てるような活動が出来たらと考えてまいります。

校長先生をはじめ、教頭先生、担当の戸倉教諭、たくさんの先生の皆様にご協力頂き、大きな怪我もなく終わることが出来ました。また、来年も是非お願いしたいなどお褒めのお言葉を掛けて頂き、感謝の気持ちで一杯です。今後も道内の支援学校の生徒さん、親御さん、先生の皆さんの少しでも今後のお役に立てるよう努力してまいります。